

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第7回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項

- ・学校適正配置に係る諏訪小学校の状況について

(2) 協議事項（公開）

- ・地域活性化の方向性について

3 開催日時

令和5年10月30日（月）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：青木雄司、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、中島 功（副会長）、
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席2名）
- ・教育委員会事務局教育総務課：秋山係長
- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認：大滝委員に依頼

次第2 議題「(1) 報告事項」 「学校適正配置に係る諏訪小学校の状況について」に入る。
教育総務課の説明を求める。

【教育総務課 秋山係長】

10月26日の諏訪区地域協議会で、諏訪小学校の廃止について諮問を行った。諮問内容
と諮問理由について報告する。

○諮問内容：廃止予定日、令和7年3月31日。同年4月1日付で、上越市立戸野目小学校
に編入統合。

○諮問理由：諏訪小学校の学習環境の改善に向けて、同校の保護者と意見交換を重ねる
とともに、地域住民の意向を把握した上で検討を行った結果、戸野目小学校との統合に
より、望ましい学習環境を確保する必要があると判断したことから、諏訪小学校の廃止
に関し、諏訪区の住民の生活に及ぼす影響という観点から意見を求めるもの。

以上の内容で諮問を行い、その結果、地域住民の生活に支障ないものと認めるという
ことで、答申を受けたことを報告する。今後については、統合に向けた協議となり、諏
訪小学校、戸野目小学校の皆様と、通学方法やPTA後援会などの調整を行うとともに、
4月以降に合同授業などを実施して、統合前に両校の児童の交流を行い、一体感の醸成と
円滑な移行を図りたいと考えている。

この取組については、子どもたちの学びを第一に、地域や学校関係者の皆様のご理解を
得て進めたいと考えているので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問・意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、津有区地域協議会としても、この状況について承知したとい
うことでよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 報告事項」 「学校適正配置に係る諏訪小学校の状況について」
を終了する。

(教育総務課退席)

次に、次第2 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務
局の説明を求める。

【山崎主事】

地域活性化の方向性の作成に向け、アンケートの分析を行う。「年代別集計」「他のアンケートとの比較」「自由記述意見一覧」のデータを委員に配布した。これをもとに気づいたこと等を話し合い、分析したい。次回はこれをもとに地域活性化の方向性を検討する予定。個別の地域課題については、任期中に対応することは難しいため、次期委員へ引き継ぐこととしたい。

【小林所長】

- ・補足説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問・意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、次に2つのグループに分かれて、意見交換を行う。

～2つのグループに分かれて意見交換～

各グループの協議内容を、会長、副会長から発表。

【中島副会長】

○地域協議会を知っていますか？

若い人は「あまり知らない」「全く知らない」がほとんどで、40～50代と60代以上は「知っている」人が多い。これはやはり当事者だから知っているということで、自分の責任があるところの人は知っているということなのか、と考えられる。

○問1 津有区は好きですか？

「大好き」「嫌い」「あまり好きではない」が少ない。「まあまあ好き」と「どちらかといえば好き」が8割ということで、この中で大好きを増やすにはどうしたらいいかが課題ではないか。

○問2 津有区の生活で満足していることは何ですか？

「自然がよい」「災害が少ない」、これは田舎だからだが、住人にとっては魅力なのかもしれない。「車での移動が便利」「治安が良い」、これは人が少ないからで、田舎の良さでもある。

○問3 津有区の生活で困っていることや心配なことは何ですか？

やっぱり「雪」。何とんでも「雪」。次に「老後の生活」「担い手が少ない」、この場合の担い手は農家の担い手ではなくて、跡取りがいないということだと思う。この2

つは、セットみたいな感じではないかという意見があった。

○問4 津有区をPRできる魅力や自慢は何ですか？

各世代で「豊かな自然や景色」「海も山も近い」が多い。「謙信公武道館」は新しくできたばかりだが意外と多い。「前島密」も多く、有名なことを改めて感じた。

○問5 観光・産業の取組で重要だと思われることは何ですか？

各世代で同じ傾向がある。「生活インフラの整備」である道路、用水路、除雪などについては、行政にお願いしたい。

○問6 教育・文化の取組で重要だと思われることは何ですか？

「登下校の安全対策」「子どもの居場所づくり」が多く、20～30代は共働きで、子どもの心配をする、お年寄りや孫を心配する、ということだと思ふ。若い世代が親と同居していないとか、二世帯住宅とか、いろいろな問題が見えてくる。

「歴史や文化の継承」が多いのは、この場合の歴史は、地区の歴史ではなく、年配者からの昔からのしきたりとか伝統などが含まれているのではないかという意見があった。

○問7 地域福祉の取組で重要だと思われることは何ですか？

若い世代は「自然災害への備え」「子育て支援」が多く、仕事をしながら子どもの育て方や安全についての不安があるということ。

上の世代は、「自然災害への備え」「町内会での助け合い」が多いが、町内会にいろいろ協力して欲しいという思いで、「高齢者の生きがい支援」は、年寄りだけで生活している家が増加しているので、生きがいが欲しいのだと思ふ。「買い物や通院などの生活支援」は免許返納後の生活に対する不安。

○問8 最も優先すべき取組は何ですか？

これが地域協議会で、取り組むべきところ。圧倒的に多いのは「生活インフラの整備」で、これは世代共通して多い。しかしこれは行政に要望することで、地域協議会が取り組めるものではない。他にこの中から何を見つけていくか、どう考えていくべきかというところまでが、本日の協議であった。

【藤本会長】

私たちのグループでは、基本的に全く同じような方向性で話をして、「地域協議会の認知度」や「問1 津有区が好きですか？」については、強く話題にはしなかった。

○問2 津有区の生活で満足していることは何ですか？

交通網の変化に関わるようなこと、人口減とか、バス路線の現状など、公共交通がテ

一マになるのではないかと話が出たが、これから出てくる話題は基本的には、地域協議会で協議するよりも、行政、もしくは他の団体の対応なのではないかという話が出た。

「車の移動が便利」についても、津有区は人口が少なく、若い人たちが生活しているところは土地が安く、家を建てやすいところが多いからではないかという意見。

○問3 津有区の生活で困っていることや心配なことは何ですか？

「雪」「老後の生活」「空き家」「担い手不足」は、どの世代も大体共通している。

「担い手不足」は若い人の考えではなく、年配者が心配している傾向が出ている。医療に関しては、宮口線の方にはバスがあり中央病院に行きやすいが、戸野目の辺りは公共交通機関という視点で考えると、中央病院に行くのは大変だという意見が出た。

買い物関係では、最近では車よりも生協を活用して、買い物に行かずに宅配してもらっているパターンが増えていると議論になった。

○問4 津有区をPRできる魅力や自慢は何ですか？

特に「前島密」については、上越市では結構売りなはずだが、関係団体がたくさんありすぎて的が絞れた活動になっていない。私たちは「前島密」について勉強していく中で、近代日本の夜明けをいろいろな場面から支えた人だと分かったが、津有地区以外の人は分かっていない。「前島密」に関する取組については、この地域というよりも、通年観光ということもあるので、行政から進めていかないと難しい。

○問5 観光・産業の取組で重要だと思われることは何ですか？

「移住者の受入れ」が課題になっているが、現実的に平場には、ほとんど移住者は来ない。それから平成町に企業が幾つか集まっているが、地域の人はその地で働いていない。実際は人材不足であるということ。若い人たちは一体何を求めているかというところではなく、給与とかではなく、楽で責任のない仕事をしたいという意識。それで、ある程度の給料がもらえばいいと考える人が増えていることが、一つの傾向としてある。

そして除雪の問題が出てくるが、そのことと連動して交通手段の問題が出てくる。これも地域として考える問題ではなく、もっと大きいレベルで対策する問題。

○問6 教育・文化の取組で重要だと思われることは何ですか？

「登下校の安全対策」については、学校から毎年春先に各町内会に対して、町内の危険箇所をかなり細かく問い合わせをしていて、それが集約されているはず。それが行き届いていないのか。「子どもの居場所」とは一体何を指しているのか分からないが、放課後児童クラブのことか。それぞれ学校によって異なるが、活用している子は多い。

○問 7 地域福祉の取組で重要だと思われることは何ですか？

「助け合い」については、若者が少ない。「高齢者の交通安全対策」については共通認識であるが、「高齢者の生きがい支援」と「子育て支援」は年代によって傾向が異なる。若い人たちは子育てが現実問題で、年配者は子育てよりもまず自分の将来が不安ということである。

○問 8 最も優先すべき取組は何ですか？

ここに出てきている各問題について、地域協議会で対応することは結構厳しいのではないかという意見があった。市レベルの問題もあり、その中で一体何をこれからの課題に絞っていくのかということについては、かなり厳しいものがある。

今日の意見を整理して、今後地域活性化の方向性を検討するためのたたき台を作る協議の第一歩と捉えている。

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第 2 議題「(2)協議事項」「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に、次第 2 議題「(3)その他」の「バスツアー及びスタンプラリーの進捗状況」に入る。事務局の説明を求める。

【山崎主事】

スタンプラリーについては、10月6日から各施設にスタンプを設置し、実施している。今現在、公民館と謙信公武道館から、スタンプラリーの台紙が足りなくなったと連絡があった。5つ集めると特製シールを公民館でもらえるという仕組みになっている。

続いて、バスツアーは、11月18日土曜日、19日の日曜日、それぞれ先着20人程度と案内している。今日現在で、土曜日が9人、日曜日が8人の申し込みをいただいている。まだ少し余裕があるので委員からも参加いただきたい。

- ・委員の参加者と日程を確認
- ・バスで行く津有めぐり行程表を説明

【藤本会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第 2 議題「(3)その他」の「バスツアー及びスタンプ

ラリーの進捗状況」を終了する。

次に、次第3「その他」の「(1)次回開催日の確認等」に入る。

【山崎主事】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：11月27日（月）午後6時30分から
津有地区公民館 大会議室（予定）

【藤本会長】

以上で次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」を終了する。

次に、次第3「その他」の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【山崎主事】

町内会長との意見交換会の日程について説明

【藤本会長】

ほかに、何かあるか。

(無しの声)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。